

▽平成 29 年度実施事業計画

I 各事業の内容

定款上における事業の種類

(1) 故中村元博士の蔵書の管理及び中村元記念館の管理と運営

1. 中村元博士蔵書整理事業

○事業計画

事業の目的	3 万点を超える中村博士の蔵書を整理し、データベース化することで、哲学のみならず幅広い人文科学研究の進展に寄与すること。
実施期間	通年
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・日本最大の総合目録・所在情報データベースである NACSIS-CAT へ登録し、全世界への公開に向けて、博士の蔵書の整理を推進する。・松江市からの委託(委託費約 1,500 万円/年)を受け、蔵書の清掃・長期保管処理・整理・登録を推進する。・今年度登録目標冊数:3,000 冊・蔵書の公開・図書室ニュースの発信

(2) 東洋思想・文化に関わる研究、講座、イベント等の実施

1. 講座運営事業(東方学院松江校の運営)

○事業計画

事業の目的	インド哲学・仏教学をはじめとする東洋思想の講義を開講することを通じて、故中村元博士の理念を継承していく。
実施期間	平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月
事業内容	講師・受講生、開催会場などの管理と運営。それにもなう会計処理や広報活動。
実施講座数	・予定講座数:【定期講義】12 講座 【集中講義】14 講座
連携先	公益財団法人中村元東方研究所
想定される効果	当記念館の理念を実現していく上で、特に重要な事業の一つである。そして、定期的な来館者を確保できる点でも有益である。 また、本事業を通じて、山陰地域の住民に東洋の思想・文化の普及が見込まれる。

2. 研究員による研究活動

○事業計画

事業の目的	当記念館所蔵の文献を活用し、故中村元博士が開拓した学問の道を探求し、山陰地域の学術・文化の振興に寄与する。
実施期間	継続中
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・研究員 8名・中村元文化カフェでの研究員による研究発表を予定。・「中村元記念館通信」に研究員より寄稿していただく。・研究報告の発行。
連携先	公益財団法人中村元東方研究所
想定される効果	研究員によるインド哲学や仏教をはじめとする東洋思想の研究発表などを通じて、東洋思想の拠点としての役割を担い、記念館の存在意義を高めることが期待できる。

3. 大学連携事業

○事業計画

事業の目的	当記念館所蔵の文献を活用し故中村元博士が開拓した学問の道を探求し、次世代の研究者の発掘、教育に寄与する。
実施期間	継続中
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・島根大学 島根県立大学学生の視察、ボランティア活動他、公開講座など連携方法を探る。・国内外の仏教学・哲学に関する大学/研究室と連携し、長期休暇を活用した合宿利用を誘致する。・当館内に連携大学の PR スペースを開設し、各大学の企画による展示を行う。
連携先	連携調印済大学:大正大学、立正大学、佛教大学、島根大学、島根県立大学、東京大学(インド哲学仏教学研究室)、東洋大学、武蔵野大学、龍谷大学、大谷大学、
想定される効果	国内外の大学に活用していただくことによる、研究施設としての価値向上、博士の研究に対する顕彰。また、全国に対する当館のPRに資する。 若者への訴求力を高め、今後日本有数の哲学者の集積地として中村元記念館が発展することで、文化・教育レベルの高い松江市のブランドイメージが醸成される。

4. 企画展開催事業

○事業計画

事業の目的	中村元博士の研究や、東洋思想に理解を深めていただくために、博士の蔵書や、収蔵品を展示する。また、地域に関連した展示や、子どもたちに向けて博士の思想や、東洋思想などについて理解が深まるような内容の展示も行っていきたい。
実施期間	随時開催予定
事業内容	①朝河貫一展 ②村岡典嗣展 ③中村元ネパール交流展(仮) ④図書室ミニ展示～中村コレクション～ ⑤民族楽器や衣装などの展示
想定される効果	来館者の増加による交流人口の拡大

5. 「中村元東洋思想文化賞」の実施

○事業計画

事業の目的	学術振興の一環として、東洋の思想文化に関する学生の論文を募集することで、次世代を担う若い世代への研究の啓発・助成を行うため。
実施期間	通年
事業内容	全国の大学の学部生の卒業論文及び修士課程学生の修士論文を募集し、公益財団法人 中村元東方研究所の協力によって審査を行い、下記の賞の受賞者を決定する。 ・優秀賞 奨励賞・松江市長賞
想定される効果	人文科学研究の振興、若手研究者の研究意欲向上。全国の大学に論文募集のPRを行うことで、記念館の知名度の向上が見込まれる

6. 「国際ヨガデー関連イベント」の実施

○事業計画

事業の目的	国際ヨガデーにあわせて、博士の研究テーマでもあったヨーガとインドの文化を広く一般の方に楽しんでもらうことを目的とする
実施期間	平成 29 年 6 月 18 日
事業内容	1. 初心者でもできるヨーガの体験講座 2. インド出身の講師によるチャイの実演試飲とインド文化についてのお話し
想定される効果	ブームとなっているヨーガの実践講座を行うことで、新たに記念館に足を運んでいただくきっかけとする。また、インド出身者による本場のインド文化に触れていただく機会を提供することにより、中村博士の研究についての理解を広げていきたい。

7. 外部団体の運営支援

○事業計画

事業の目的	各種団体が行う大会やシンポジウム、学会などの開催を支援する。
事業内容	全日本仏教会が行う、仏教徒大会を島根県で開催できるよう支援を行っていく。
想定される効果	全国から大勢の人が訪れることが予想される。記念館の知名度アップ、松江、島根県にとっての経済効果も見込まれる。

(3) 東洋思想・文化の普及、啓発のための事業

1. 中村元記念館友の会の会員募集・会員特典の提供

○事業計画

事業の目的	当館の運営に対し共感し、協力する方々に「中村元記念館友の会」に加入していただき、中村元博士の業績、東洋思想及び当館の活動に対する理解を一層深めていただく。
実施期間	通年
事業内容	中村元博士の蔵書整理・公開、東方学院松江校の運営など、当館の活動に対して共感・協力していただける方を対象に、「中村元記念館友の会」に加入していただく。(会費 2,000 円/年) ・会員特典 会員証の発行、活動報告の発送、館内での書籍・グッズ購入時の割引、提携施設(由志園等)の入場料割引 ・会員同士の親睦会(年1回程度)開催 平成29年5月28日(日) 島根大学の連携の一環として、副学長の出口顕先生による講演。 会員同士の交流を行う。

2. 書籍・グッズ販売

○事業計画

事業の目的	来館者への書籍販売、お土産品の提供による、来館者満足度の向上。中村元博士及び東洋思想に触れる機会を創出する。
実施期間	通年
販売グッズ	書籍販売では、出版社との協力なども得ながら情報収集などにつとめ、一般の方にはもちろん、研究者にとっても魅力ある専門書店としていきたい。また、現在のオリジナルグッズ販売を継続し、さらに新たなグッズの開発に努める。 既存のグッズにラッピングなどに工夫を凝らし付加価値をつけ、記念館のお土産として魅力あるものにしていきたい。

3. 哲学博物館/記念館との連携

○事業計画

事業の目的	広く全国の方へ東洋思想・哲学を普及するため、哲学者をはじめとした人文学者を顕彰する全国の施設と連携し普及活動を推進。
実施期間	継続中
事業内容	「島根大学」との連携、「史跡足利学校」との交流事業の実施について協議を進める。他館については連携に向けて情報交換、相互の広報活動を継続する。また、近隣施設を中心に新たな連携を図っていく。

4. 広報・出版活動

○事業計画

事業内容	<p>中村元記念館及び東洋思想に興味を持っていただく機会を創出するため、チラシやパンフレットだけでなく、ホームページやフェイスブックなど様々な媒体を通じて情報発信を行う。また、WEB 上での公開講座などの方法も探っていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none">・パンフレット・チラシ・ポスターの配布・中村元記念館通信の発行・ホームページの運営・メールマガジンの発行(年間 12 回程度配信予定)・フェイスブック・ブログの運営(年間 50 回程度更新予定)・プレスリリースの発表・山陰中央新報紙面上にて、中村元博士が遺された「慈しみの言葉」の連載・東方学院松江校講師による講座案内記事の掲載(随時)・中村元記念館紹介番組を活用し、PRをおこなう。
-------------	--

5. 団体見学受け入れ事業

○事業計画

事業の目的	観光・研修等の目的で来館される団体を対象に、館内の案内のみならず中村博士の業績や東洋思想についてスタッフによる説明を行うことで、中村博士の業績についてより深く理解していただき、満足度を高めること。
実施期間	継続中
事業内容	・予約制・有料で、団体来館者に対してスタッフから説明を行う。
想定される効果	中村博士の業績や記念館の取組について来館者により深く理解していただく。有料で案内を行うことで、記念館が継続していくための貴重な収入源となることが期待される。

(4) 国際文化交流事業

1. アジア文化紹介事業

○事業計画

事業の目的	中村元記念館の必要性を周知し、また市民による利用の向上を目的とし、中村元博士が研究されたアジア全域について学術的な視点だけでなく、文化的な交流も促進し、興味を持っていただくきっかけを創出する。
実施期間	通年
事業内容	イベントでの紹介 ・ぼたん祭ステージイベント keiju (H29年4月30日)。 ・アジアの文化を知る講座やイベント開催(インド・チベット文化の紹介など) 展示等による紹介 ・アジア各国の文化紹介本等を設置し、気軽に読書することができる環境を整備。
想定される効果	哲学/宗教学といった学問的な入り口だけでなく、文化や芸術など比較的興味を持ちやすい分野からの入り口を用意することで中村元記念館の利用向上、中村元博士の顕彰に寄与。

(5) 地域の文化、経済、観光、人づくりを推進するために必要な事業

1. 地域との交流事業

○事業計画

事業の目的	中村元記念館が故中村元博士を顕彰する為の施設であるだけでなく、地域に必要とされる施設であり続ける為に、地元八束町の住民の皆様との交流事業を実施する。
実施期間	通年
事業内容	・ぼたん祭への参加・運営の協力を実施。 ・「花と緑の島づくり協議会」へ参加し、大根島内の緑化事業など、地域振興活動に協力する。 ・中村元杯グランドゴルフ大会の開催。 ・ボランティアサポーター制度の継続。 ・八束学園、八束公民館との連携
想定される効果	町内イベントへの参加、講師・研究員と地元住民との交流によって当記念館の認知度を向上させ、住民の間で当記念館の存在意義を共有していただける。

2. 子ども教育事業

○事業計画

事業の目的	子どもたちが自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力、生命を大切にする心や他人を思いやる心、善悪の判断などの規範意識等の道徳性を身につけられるよう、当記念館において小中学生を対象とした活動を実施。
実施期間	継続中
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・『中村元物語』を成 28 年度に引き続き、松江市内 小学校 5 年生、中学校 2 年生に継続配布できるよう松江市に働きかけるとともに、記念館への見学、故中村元博士についての講義を実施できるよう働きかけたい。 ・小中学生の職場体験、夏休み子供ボランティア事業の実施 ・その他、教育委員会や、八束学園、公民館などと密な情報交換が行えるよう定期的な懇談の場を設けたい。
連携先	松江市教育委員会、八束学園など周辺市町村の小中学校
想定される効果	子どもたちが「慈しみの心」と「寛容の精神」を持つ大切さを知る。また、松江が生んだ偉人である故中村元博士の業績を伝えることで子どもたちの郷土愛を醸成し、郷土に誇りを持てるようになる。

3. はじめハウスの活用

○事業計画

事業の目的	中村元記念館の利用者に対して会議・研究・宿泊等の用途に対して旧八束教員住宅を提供することで利便性を高め、中村元記念館の利用を促進する。
実施期間	継続中
事業内容	研究者、学生等の記念館利用者に対し滞在場所を提供するほか、はじめハウスを利用したイベントの開催、また国指定特別天然記念物「幽鬼洞」、が近いこともあり、地質調査の勉強会など、地域と連携しながら有効活用していく。
連携先	松江市、八束町公民館
想定される効果	記念館及び八束町の認知度の向上。

4. 山陰インド協会への支援

○事業計画

事業の目的	中村元記念館が地域に必要とされる施設であり続ける為に、地域経済への寄与を目的とし、「山陰インド協会」に対して支援を実施。
実施期間	継続中
事業内容	中村元博士が築いたインドとのつながりを文化、経済など幅広い交流に広げるため、山陰インド協会の活動をさらに支援していく。
連携先	中海・宍道湖市長会、中海・宍道湖・大山圏域経済会
想定される効果	地元企業の海外事業展開による、地域経済の活性化

5. 地域人材活用育成事業

○事業計画

事業の目的	地域の学生や一般のボランティアを組織化して中村元記念館の事業を支援していただくことで、地域に眠る人材の活用や育成につなげる。
実施期間	継続中
事業内容	島根大学学生支援課と連携し、島根大学の学生ボランティアの募集を推進する。 既に登録しているボランティアサポーターの意向調査を通じて、本人の希望に応じた業務を割り振ることでボランティアの方が働きやすい環境を作る。
連携先	島根大学、八束町公民館
想定される効果	学生の地域貢献や学習の深化、地域人材の生きがいの醸成。